

令和4年度 認定こども園（学校）評価表

学校法人 総純寺学園

記入者：【評議員】

	項目	A	B	C	D
教育目標・教育方針	学園の教育目標や教育方針は、明確である。(入園説明会や懇親会・クラスだよりなどでわかりやすく伝えている)	89	11		
	学園の教育方針や教育目標が子どもたちの育ちに活かされている。	89	11		
指導の状況	園の教育内容・保育内容は、教育目標を活かして作られていると感じる。	89	11		
	異年齢混合の実践にあたりそれぞれの年齢に応じた教育・保育が行われている。(収穫祭の作品や学年別懇親会等)	89	11		
	子ども一人ひとりの成長・興味・関心に応じた教育・保育が行われている。	78	22		
	乳幼児の教育に、地域の自然や施設を活用している。	89	11		
教育環境	学園は、保育環境の整備を心がけ、清潔で心地よい生活の場を作り出し、健康と安全に心がけている。	78	22		
	学園は、乳幼児にとって必要かつ安全な食材・食環境を整えている。(有機栽培の野菜・無添加調味料・陶食器・木製椀等)	100			
	学園は農園体験など自然との関わりを充実している。	100			
	教職員は、挨拶・礼儀・言葉・生活習慣において子どもの模倣の対象としてふさわしい存在である。	78	22		
	保育室の教材・遊具が充実している。	78	22		
	こども園は、乳幼児の動きや目線に配慮した施設構成になっている。	78	22		
教諭の役割・資質向上	保育教諭は、乳幼児の気質や個々の発達を捉え、日々の観察に努め、適切な援助を行っている。	89	11		
	保育教諭は、全ての園児に平等にふさわしい言葉遣いができている。	78	22		
	保育教諭は、園児の模倣の対象となれるように努めている。	78	22		
	現場教諭は、乳幼児教育者としての専門知識を活かし、かつ、教育の質をあげようと自己教育をしている。	89	11		
	教職員は、季節に応じた環境の設定を行うため、日頃から感性の向上に努めている。	89	11		
	毎日の保育は安定し、乳幼児は喜んで登園している。	78	22		
	保育教諭は、自らの研究テーマを持ち、発表の場を園内外に設け、学びを実践している。	78	22		

A: 優れている B: 普通 C: やや努力が必要 D: 努力が必要

	項 目	A	B	C	D
子育て支援	学園は、子育てについての相談にのっている。	78	22		
	3歳未満の親子に対してのこども園や園庭の開放の機会がある。	89	11		
	3歳未満の親子に対して、子育てに関する講演会、行事、情報提供等がある。	100			
運営	学園は、園内の施設の安全点検、衛生管理をしっかりと行っている。	100			
	各教職員は学園組織の中で各役割を理解し、責任を持って実行し努力している。	78	22		
	おたよりやリーバリーノート(教育ノート)・ホームページ・フェイスブック等を、活用している。	67	33		
	学園は、保育参加・懇親会・行事を通して保護者の理解が深められるよう努めている。	89	11		
	教育講座・勉強会等の機会を持ち、教育の啓蒙に努めている。	100			
地域住民や関係機関との連携	学園は、地域の小学校の行事や公開授業などに参加し、連携を図るよう努めている。	78	22		
	学園は、地域の小学校との連携を図るために、幼保小連絡協議会を設け情報交換に努めている。	78	22		
	学園は、地域のお祭りや伝統行事に参加したり、地域との連携を目的とした行事の推進をしている。(星まつりや収穫祭、福祉施設の慰問等)	63	37		
	学園は、ホームページ・フェイスブック・行事の案内チラシなどを利用して、行事の案内など園の情報の発信に努めている。	100			
	学園は太陽光発電や風力発電等を使用し自園でエネルギー確保努力を行い、持続可能な開発目標(SDGs)に取り組み、外部に発信している。	100			

A:優れている B:普通 C:やや努力が必要 D:努力が必要